

<平成26年6月4日記者会見 補正予算概要市長コメント>

6月補正予算の編成作業が、このほど終了いたしましたので、その概要についてご説明いたします。

私は、二期目のまちづくりにあたって、4年間の蓄積の上に、これまで進めてきた産業政策はもとより、健康・福祉、教育、環境など様々な施策を有機的・横断的に結びつけ、「フードバレーとかち」を地域づくり政策として更に加速・深化させ、「夢かなうまちおびひろ」の実現に向けて、市民の皆さんと正面から向き合い、納得感のある開かれた市政を目指していきたいと考えております。

そのため、今回の補正予算につきましては、市民の皆さんの幸せに何が必要かを全ての判断の基準にしながら、お約束した公約の実現や本市の現状に照らし合わせ緊急性を要するものにつきまして、意を用いて編成したところであります。

では、お手元の資料2をご覧ください。

この資料につきましては、6月補正予算の項目を、これまでお示ししている「まちづくりの主な取り組み方向」の体系に従って整理したものです。

順次、この資料に沿って、主な事業を中心に説明いたします。

はじめに、「活力あるおびひろ」につきましては、観光交流拠点として、幸福駅の周辺環境の整備を進めるほか、様々な媒体を活用したプロモーションビデオによる広告展開などにより、首都圏を中心に「とちのかち」イメージアップキャンペーンを行います。

さらに、観光、教育と連携し、馬文化の承継に向け、帯広競馬場内の「ふれあい動物園」を整備するほか、失業者に対する人材育成、就業支援、在職者の賃金引上げ等の処遇改善のため、北海道の基金事業を活用した緊急雇用創出推進事業を行ってまいります。

次に、「人輝くおびひろ」につきましては、小学校における家庭訪問相談員の増員や、帯広南商業高等学校にスクールカウンセラーを配置し、児童・生徒の教育相談体制の充実を図ってまいります。また、誰もが安心して利用できる新しい総合体育館の整備に向け、基本計画の策定を行います。さらに、11月に開催される「ワールドカップスピードスケート競技会」の帯広開催を支援するほか、魅力ある学校給食を提供するため、地元産農畜産物を活用した新たな献立や加工品の開発を進めます。

つぎに、「人に優しいおびひろ」につきましては、スマートライフプロジェクトの充実に向

け、企業で取り組む健康づくり環境の整備を支援してまいります。保育環境等の充実につきましては、保育士の人材確保のため、保育士等の処遇改善に取り組む私立保育所への支援や、公立保育所及びへき地保育所にエアコンを設置するものであります。また、水痘ワクチン、成人用肺炎球菌ワクチン予防接種の実施により、感染症対策を進めるほか、中島霊園内に市民の皆様のニーズに対応した合同納骨塚を整備してまいります。

つぎに、「快適に暮らせるおびひろ」につきましては、コミュニティ施設の耐震化を進めるほか、環境モデル都市として、再生可能エネルギー等の活用の推進に向け、道路車両センターにB5燃料の簡易給油機を設置いたします。また、帯広の森造成開始から40年を迎えるにあたり、記念事業をとおして、市民により身近で日常的な存在として感じられるきっかけづくりを行います。公園・市営住宅・上下水道施設等の長寿命化につきましては、市民が日々の生活を営み、企業が円滑に事業を展開するために必要不可欠である都市インフラについて、計画的な修繕や設備の更新を行ってまいります。

つぎに、「未来に続くおびひろ」であります。高度経済成長期以降に集中して整備された公共施設の老朽化に伴い、今後改修や更新時期が集中することが想定されることから、公共施設マネジメント導入に向け、調査・研究を行うものであります。社会保障・税番号制度の導入につきましては、市民への個人番号の付番や行政事務での番号の利用などに向け、住民

基本台帳システム等の改修を行うものであります。

以上が、6月補正予算の主な事業であり、予算総額は 7億241万3千円であります。

なお、各会計別の予算規模及び事業の詳細につきましては、お手元の資料1をご覧くださいと存じます。

以上が、6月補正予算の概要であります。これらの予算につきましては6月11日招集予定の議会に提案し、ご審議いただくことになっております。